

都市再生整備計画(第3回変更)

ちくぜんふかええきしゅうへんちく
筑前深江駅周辺地区

ふくおかけん いとしまし
福岡県 糸島市

平成27年12月

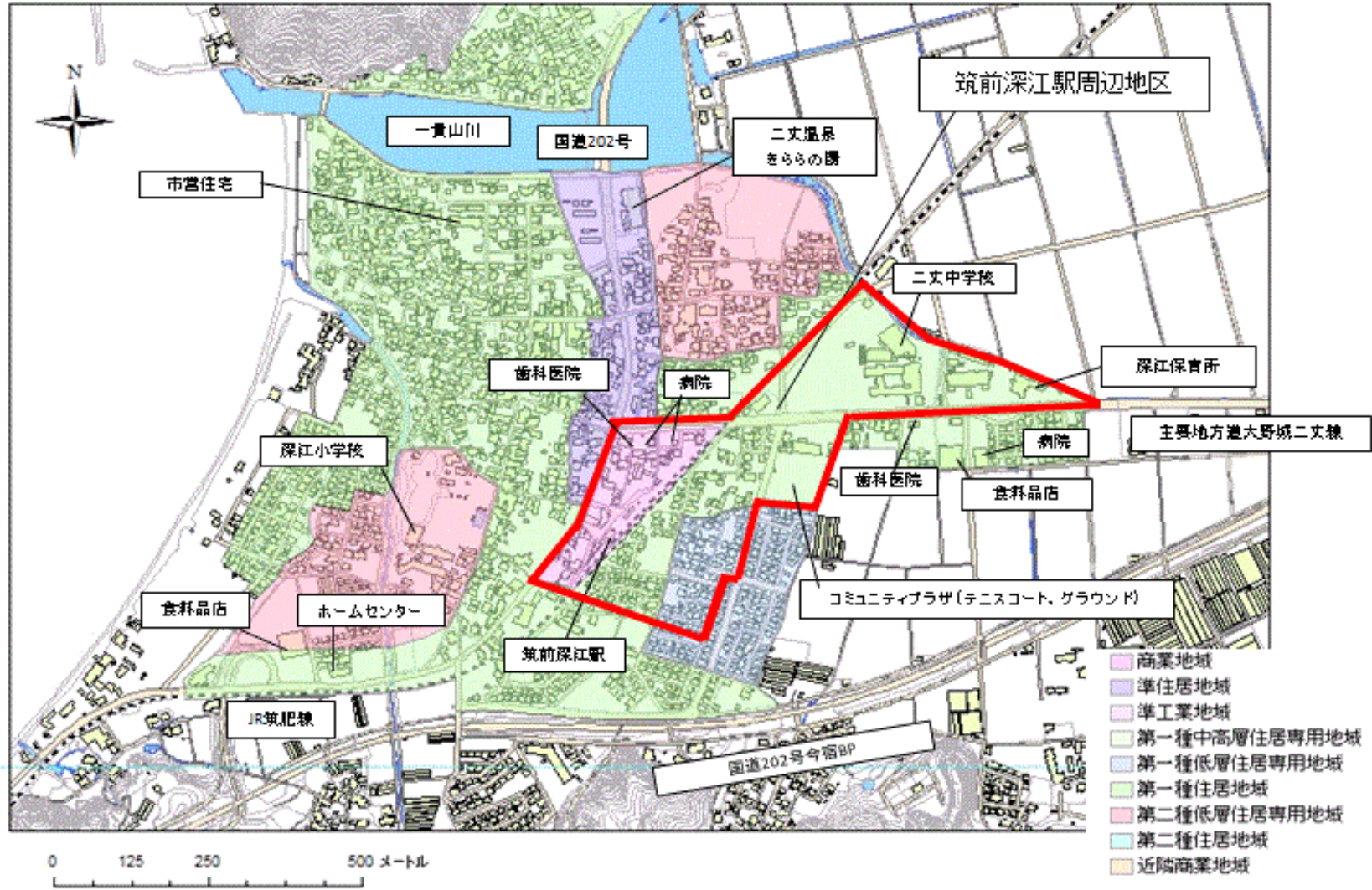
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 橋上駅舎、自由通路、駅前広場、アクセス道路の整備などにより駅利用者の利便性を向上する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道によって南北に分断されていた駅舎を橋上化し、自由通路を整備することで、駅利用者の利便性向上や地域間交流の活性化を図る。また、駅北側には小学校や病院、南側には市役所支所や市立公民館、中学校、保育所など駅を中心に公的機能が集中かつ南北に分断しているため、自由通路を整備することで、駅利用者だけでなく、市民全体の利便性、安全性の向上を図る。 ・駅入口が北側のみであるため、南側地域の住宅街に住む駅利用者は踏切を横断しなければならないことから、公共施設のバリアフリー化を進めることで高齢者や障がい者をはじめとする利用者の不便や危険を解消し、公共交通の利用促進、定住の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・街路(基幹事業/都市計画道路筑前深江駅自由通路線/市)
<p>整備方針2 街路景観の向上や施設のバリアフリー化、交通結節機能の強化などによる魅力の向上と土地の有効利用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場を整備することで、バスやタクシーなどの2次交通との連結機能を促進し、本市西部地域の観光振興、地域活性化を図る。 ・不足している駐車場及び駐輪場の整備を行うことで、駅の利用促進を図るとともに、放置自転車対策を進めることができ、まちの景観、環境の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路(基幹事業/駅前広場整備/市) ・地域生活基盤施設(基幹事業/筑前深江駅前駐車場整備/市)
<p>整備方針3 駅周辺に防災機能を有した公共施設を一極集中することにより、都市機能の充実と利便性の向上、安心安全なまちづくりを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深江校区公民館を、図書館と同じ建物に移設することにより、公民館利用者、図書館利用者双方の利便性を向上させ、乳幼児から高齢者まで3世代の住民が相互に交流できる施設の整備を図る。 ・耐震基準を満たしていない現公民館を廃止し、二丈庁舎跡に移設することにより、公民館機能の災害時避難所機能を確保する。 ・自然災害や原子力災害等が発生した際に必要な災害用物資を常時備蓄することにより、安心安全なまちづくりを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次都市施設(基幹事業/深江公民館整備/市) ・地域生活基盤施設(基幹事業/災害用物資備蓄倉庫/市)
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

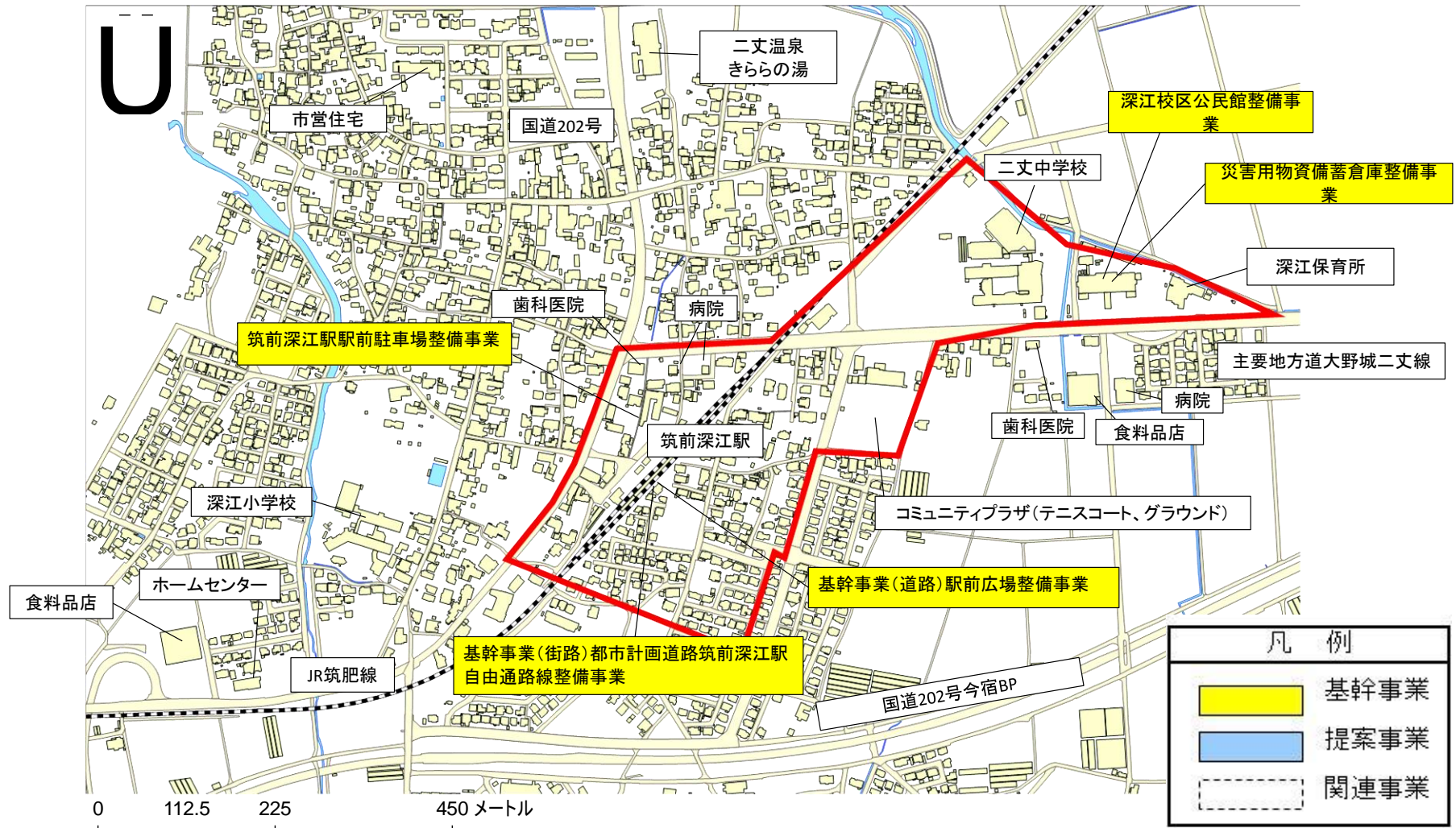
筑前深江駅周辺地区(福岡県糸島市)	面積	16.3 ha	区域	二丈深江の一部
-------------------	----	---------	----	---------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



筑前深江駅周辺地区(福岡県糸島市) 整備方針概要図

目標	駅前広場やアクセス道路などの都市施設を整備し、JR駅との交通結節点の整備改善により利便性の向上を図り、公共交通と連携した良好な住環境の創出と快適なまちづくりをめざす。	代表的な指標	公共交通の利用者数 (人/日)	1,989 (H24年度) → 2,100 (H30年度)
			自由通路の利用者数 (人/日)	0 (H24年度) → 2,500 (H30年度)
			深江校区公民館の利用者数 (人/年)	21460 (H25年度) → 23606 (H28年度)



【深江地区都市再生整備計画の概要】

本地区は、本市市街地の西部に位置し、南側は脊振山系、北側は玄界灘と、海と山に囲まれた地区で、農用地も多く、平地面積の少ない地域であり、筑前深江駅を中心に市役所支所、小中学校、市立公民館などの公的施設や病院、食料品店など生活施設が集中している。

また、豊かな自然環境や貴重な歴史・文化資源、有名な神社・仏閣、伝統的な祭り、新鮮な食材などの多彩な観光資源を有する地域で、福岡都市圏をはじめ、隣接する佐賀県唐津市などからも気軽に訪れることができるレジャースポットとなっており、都市マスタープランにおいて、西側の地区拠点として位置づけている。

このような地理的、都市機能的状況から、筑前深江駅を拠点とした効率的な整備が必要であるにもかかわらず、現在、筑前深江駅は、北口のみしか乗降できず、当該地域が南北に分断されている。このため、北側の小学校や病院、南側の市役所支所や市立公民館、中学校、保育所、病院、食料品店など地域内での南北移動時の交通利便性が悪く、各種手続き、送迎、通院、地域イベントなど、駅を大きく迂回し、踏切を横断しなければならない状況である。

また、筑前深江駅は、階段のみで、段差も多く、バリアフリー化が図られていないため、障害のある人や高齢者などには、駅の利用も不自由な状況で、隣の駅から乗降している人も多い。これに加え、駅前広場がなく、駐輪場も不足しているなどバス、タクシー、自転車などの交通結節機能が低く、定住や観光などの振興、地域活性化が図りにくい状況である。駅前広場が未整備であることは、放置自転車などによる歩行者空間の機能低下、景観の阻害、盗難自転車の増加の原因にもなっている。

なお、平成27年4月からは糸島市役所二丈庁舎の支所機能が廃止される。これに伴い、二丈庁舎跡へ深江公民館を移設するなどを行うことにより、公民館機能、図書館機能、子育て支援センター等の地域コミュニティ活動の強化を図る。

したがって、深江地区都市再生整備計画は、バスやタクシー、自転車などの2次交通の交通結節機能の向上、放置自転車対策、バリアフリー化、自由通路による南北交通利便性の向上などによる駅周辺の整備により、駅利用者や観光客の増加、地域コミュニティ活動の活性化など筑前深江駅を中心とした西部地域における、地区拠点づくりのために必要な計画である。

